



You & I

～あなたと私の男女共同参画～

You(あなた)とI(私)が互いに支え合い、尊重しながらともに歩んでいける社会をめざすため、男女共同参画について考えるコーナーです。

■問合せ 企画調整課政策推進係 TEL72-1111(内線219)

6月4日、桜山小学校で県男女共同参画センターが主催する「子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業」の保護者向けワークショップが行われました。

この事業は、子どもの頃から男女共同参画への理解を深めてもらおうと、県内の小・中学校で行われていて、児童・生徒、教職員、保護者を対象としたワークショップを一体的に実施し、地域全体の人権意識や男女平等意識の形成を目指しています。

■ＺｏｕメッセージからＺメッセージへ

参加者は、コーディネーターの高崎恵さんの出す指示のもと、簡単な絵を描きました。その後、グループに分かれて、お互いの絵を見せ合いながら「絵を描いているときの気持ち」と「絵を見せ合ったときの気持ち」を話し合いました。話し合いをするに当たり、高崎さんから「『あなたの言うことは違うよ』というような、『相手』を主語にして話すＺｏｕメッセージではなく、『私はこう思います』というような『私』を主語にして自分の考えや気持ちを伝えるＺメッセージで話し合いをしてみましよう」と提案があり、参加者はＺメッセージを意識しながら感想を言い合いました。「同じような絵の人もいれば、全然違う絵の人もいてお



もしろかった」、「考えることはそれぞれ違うと思った」など、自分たちが描いた絵から「みんなそれぞれがう」ということを改めて実感していました。

高崎さんは「今日描いた絵は、みんなそれぞれ違っていたと思います。『ちがいは、間違いや劣っていることではなく、一人ひとりが持つ『個性』という素晴らしいものだ』ということを忘れないでください。そして、私たちは友達や親子など近い関係であるほど、言わなくてもわかってくれるはずだと思います。Ｚｏｕメッセージになりがちですが、そうではなくＺメッセージで自分の考えや気持ちをしつかり伝えていくことが大事です。これからは、子どもたちへの声掛けや学校・地域等の話し合いの場などでも『みんなちがう』ということとＺメッセージを意識してほしいと思います」と参加者にメッセージを送りました。

■参加者の感想

- 一人ひとり考え方が違うのは当然で、違うからおもしろいと思いました。自分の子どもにも「こうあるべき」を押し付けず、良いところをたくさんほめてあげようと思います。
- 日常生活の中で、自分が子どもにたくさんＺｏｕメッセージを発していたと気付きました。子どもは私のメッセージを聞いてくれなかったのではなく、Ｚｏｕメッセージだから聞いてもらえなかったんだとわかりました。